**市政トピックス**

**●「平成30年7月豪雨」の被災者へ　2つの災害義援金の募金箱を設置しました**

　　平成30年7月に西日本を襲った豪雨は、広い範囲で犠牲者が続出し、甚大な被害を及ぼしました。

　市では、姉妹都市である愛媛県 宇和島市の支援のため、7月9日から12日にかけて、水道部・総務部・建設部から職員計5人を派遣。宇和島市から要請があった、ペットボトル飲料水２万２千２００本の支援物資を届け、被害状況の確認と必要な支援ニーズの調査を行いました。

　宇和島市をはじめ、被災した地域では、被害の全容が少しずつ明らかになってきていますが、生活を揺るがす大変な状況に、復旧の見込みは立っていません。

　市では、尊い命を失われた方にご冥福をお祈りし、残された家族や友人、被災された皆さんの一日も早い復旧・復興を応援するため、2つの義援金募金箱を設置します。

　市民の皆さんのあたたかいご協力をお願いします。

「平成30年7月豪雨」災害義援金受け付け

姉妹都市・宇和島市への義援金

市の窓口を通じ、愛媛県宇和島市の被災者へ配分されます。

日本赤十字社義援金

日本赤十字社を通じ、被災自治体から被災者へ配分されます。

募金箱の設置期間　平成30年12月31日まで

募金箱の設置場所　市民課、各総合支所市民福祉課

**●世界農業遺産の活用に向けた推進会議を立ち上げました**

　　平成30年7月17日、大崎地域の世界農業遺産を、地域の資源として保全・活用する方法を話し合うため、「アクションプラン推進会議」が設立されました。

　この会議は、世界農業遺産に認定された大崎耕土の「地域資源を活用した交流人口の拡大」「農産物などの価値の共有と向上」「次世代の人材育成の推進」を主な目的としています。

　今回の会議では、アクションプランを推進するため、大崎耕土の地域資源を屋根がない博物館として編成するフィールドミュージアム構想と、農産物などの認証制度について検討を行う２つの検討部会を設置しました。

　意見交換では、「認証制度によるブランド化に期待する」、「地域での学びや活用の機会の創出が必要」、「女性の目線を積極的に取り込む必要がある」など、さまざまな意見や提案が出されました。

**●2018　7月の主な出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 5日 | ●大崎市道路クリーンキャンペーン出発式 |
| 8日 | ●第42回宮城県消防協会大崎地区支部消防操法大会 |
| 9日 | ●西日本豪雨災害による宇和島市への職員派遣（～12日）●優良工事表彰状授与式 |
| 10日 | ●トランスイート四季島おもてなしに対するＪＲ東日本からの感謝の盾授与 |
| 13日 | ●西日本豪雨被災地支援派遣隊報告会 |
| 17日 | ●第1回世界農業遺産アクションプラン推進会議 |
| 20日 | ●旧有備館および庭園茶亭保存修理工事完成記念茶室披き茶会●図書館開館1周年記念事業・記念講演会 |
| 21日 | ●宮城大学移動開放講座開講会 |
| 23日 | ●空家等の適正な管理の推進に関する協定式 |

**地域発　お・ら・ほ・の・ま・ち**

自分の住む地域を「おらほ」というと，親しみや愛着を感じませんか。

おらほの地域づくり，おらほの隠れた名所，おらほのおいしい特産品，おらほの伝統のまつり，おらほのイベント・・・。

そんな，愛してやまない「おらほの地域」を発信します。

**●鳴子温泉発　カブトムシとふれあいました**

　7月13日、オニコウベスキー場のセンターキューブで、カブトムシの放虫式が開催され、川渡幼稚園17人と、池月保育所16人が参加しました。

　この放虫式は株式会社オニコウベが開催する「かぶとむしふれあいの森」に先立って行われ、カブトムシを通して自然環境の大切さと、生命の尊さを考えてほしいという思いから、継続して行われています。

　児童たちはカブトムシを怖がる場面もみられましたが、慣れてくると大小さまざまなカブトムシを手に取り、友達の服にくっつけるなど、カブトムシとのふれあいを楽しんでいました。

**●鹿島台発　シュワっとデリシャスなのどごし**

　7月14日、JR鹿島台駅西口 駅前交流広場で、「モーニングマーケット前夜祭 鹿島台駅前ビアガーデン」が行われました。

　初開催となった今回、恵まれた天気と気温の高さも後押しして、予想を大幅に上回る800人以上がつめかけ、席は常に満員状態。友人たちとのどを潤したり、地元の食材を使ったおつまみに舌鼓を打つ来場客で、会場はにぎわいをみせていました。

　また、鹿島台の名産 デリシャストマトを使った地ビールがリニューアルし、同日初披露されました。デリシャストマトの甘みと、ほどよいビールの苦みが特徴の「シュワっとデリシャス」は、鹿島台の酒類販売店などで販売中です。

**●松山発　歴史と文化の香るまち 松山を発信**

6月27日、宮城県観光連盟から、観光功労表彰を受けた「まつやま訪ね歩きの会」（皆川榮三会長）が市役所を訪れ、伊藤市長に受賞報告をしました。

　公民館事業で松山の歴史などを学んだメンバーが、平成11年4月に同会を結成。月に1～2回学習会を開き松山地域の歴史などを学んでいます。

　年に20件ほど、市内外からの観光客に史跡や観光施設を案内しています。

　報告を受けた伊藤市長は「会の活動を通して、市の豊富な観光資源のPRに努めていただいている。他の地域にも広めていただきたい」と励ましの言葉を送りました。

　皆川会長は「受賞は会員皆さんや先輩たちの汗のたまもの。今後は世界農業遺産も学び、広める取り組みも行っていきたい」と話しました。